

鹿島道路は、 第62次南極地域観測隊に隊員を派遣しています

 **鹿島道路** joins **国立極地研究所**

「南極観測隊員」になるにあたり、社員の所属は「国立極地研究所」となります。

南極地域観測隊とは？

南極地域観測隊は、南極の自然科学の観測を行うために日本が南極に派遣する調査隊の名称です。通常は南極観測隊と呼ばれています。

南極地域観測隊員の構成

隊員は、国立極地研究所（極地研）を始めとする政府機関の研究員・職員その他、今回の鹿島道路のように極地研の要請に応じて会社から派遣される場合もあります。

南極での任務完了

南極観測船「しらせ」は2020年12月21日に昭和基地接岸を果たしました。観測隊は一年間の越冬観測を支える燃料や物資、食糧などを昭和基地に搬入した他、昭和基地周辺の整備を行いました。今回の任務は完了し、2021年1月20日に帰国の途についております。

鹿島道路と南極地域観測隊とのかかわり



当社から派遣された木村直之隊員

鹿島道路はこれまで第49次隊(2007年)、第50次隊(2008年)、及び第52次隊(2010年)とこれまで3回にわたり南極観測隊への派遣協力を行ってきました。

南極での鹿島道路のミッション

昭和基地における、

- ・大型重機等の整備、運用
- ・老朽化した建物の解体
- ・コンテナヤード、道路補修工事
- ・埋立廃棄物の処理

宇野木隊員通信

ラミングを繰り返し昭和基地を目指す「しらせ」。
今シーズンの往路におけるラミング回数は391回！でした。

* ラミング (Ramming) とは？

勢いをつけて氷に乗り上げ、船体の重さで氷を砕いて進む砕氷行動のこと



「投下式塩分水温深度計」を用いた海洋観察

宇野木隊員

投下式塩分水温深度計（XCTD）は海の塩分濃度と水温を連続的に測定するものです。写真の黒い筒から測定機器が排出され約2000mの深さまで有線（ニクロム線）で自由落下させながら測定します。

約2000mに到達したらニクロム線を切り、測定は終了。

投下式塩分水温深度計は下記の名称 eXpendableの通り回収はしません。

XCTD： eXpendable Conductivity, Temperature & Depth

南極観測用雪上車による資材の運搬



気温マイナス90℃近くに及ぶ極寒地南極大陸において、観測活動を支えているのが南極観測用雪上車です。南極の越冬期間における唯一の陸上移送手段として重要な装備である雪上車は、ボルト1本に至るまで耐寒性、信頼性を突き詰めた極地技術の塊です。写真は大原鉄工所：SM100S型雪上車。

昭和基地周辺散策



まるで火星のような岩場だった、という感想ですが・・・
宇野木隊員は火星に行った経験はありません。

南極観測船「しらせ」は 宇野木隊員を乗せ1月20日昭和基地を離岸！



帰国後の報告をお待ちください。